



# ウインター島、 Wordie House

南緯65度15分 西経64度16分  
アルゼンチン諸島

## 主な特徴

- 歴史的な英国基地 F、Wordie House
- 氷河の景観



## 概要

地形	Wordie Houseはウインター島の平坦でとても小さな半島に建っている（ウインター島はアルゼンチン諸島のひとつで、島全体が火成岩から成る）。小屋の南側は、すぐそばまで海が迫っている。ベルナツキー基地のあるガリンデズ島とウインター島の間にはStella Creekと呼ばれる狭い海峡がある。周囲の島々がここを外海から守っているため、夏場は比較的雪が残らないが、基地の西側には万年雪の大きな塊が見られる。
動物相	ここで繁殖する動物はいないが、以下の種は定期的に観測される: アデリーペンギン ( <i>Pygoscelis adeliae</i> )、ゼンツーペンギン ( <i>Pygoscelis papua</i> )、ズグロムナジロヒメウ ( <i>Phalacrocorax atriceps</i> )、アシナガウミツバメ ( <i>Oceanites oceanicus</i> )、ナンキョクオトウソクカモメ ( <i>Catharacta maccormicki</i> )、ミナミオオセグロカモメ ( <i>Larus dominicanus</i> )。定期的上陸: ウェッデルアザラン ( <i>Leptonychotes weddellii</i> )。
植物相 (植生)	チズゴケ ( <i>Rhizocarpon</i> sp.)、 <i>Usnea Antarctica</i> などの地衣類が生息する。コケ類では、 <i>Polytrichum strictum</i> も見られる。
その他	「基地F」は、南極条約のもとで第62南極史跡記念物に指定されている。これは、1936年に建てられて高潮で流された英国グレアムランド探検隊の小屋の跡地に、1947年に建設されたものである。建物のほか、1947年からの木の看板もある。

## 訪問者の影響

既知の影響	なし。
潜在的影響	火災。小規模な燃料漏れ。

## 上陸要件

船舶*	乗客500名以下の船舶 (次の「訪問者」の項も参照) *。一度に1隻の船舶に限る。1日あたり (午前0時から翌午前0時まで) 2隻以内で、そのうち乗客200名を超える船舶は1隻までとする。
訪問者	探検ガイドとリーダーを除き、常に上陸は一度に36名以内。基地の内部への訪問者数は、常に12名以内に限る**。 「基地F」は、英国が第62南極史跡記念物に提案した。本地区は英国と近接のウクライナのベルナツキー基地が管理している。小屋への訪問は、当事国から事前に許可を得た場合のみ可能である。訪問に先立ち、本地区を管理する当事国に通知をしなければならない。小屋の鍵はベルナツキー基地の司令官が持っている。可能であれば、探検リーダーはベルナツキーのスタッフの少なくとも1名を船上に招き、訪問前に乗客と船のスタッフに概要説明をしてもらうようにすること。

## 訪問地区

上陸地区	島の南東部、小屋の入り口のすぐ前の地点が好ましい。
閉鎖地区	なし。
ガイド付き徒歩地区	なし。
自由散策地区	訪問者は細かい指示を受けた上で、自由散策が許されている。

\* : ここでいう船舶とは、12人以上の乗客を運搬する船に限る。

\*\* : 訪問者は自らの責任で基地を訪問すること。英国政府機関、National Antarctic Scientific Centre、ベルナツキーからのスタッフ、ウクライナ政府機関のいずれも、個人の怪我や財産の損傷に対して責任を負わないものとする。



# ウィンター島、Wordie House

南緯65度15分 西経64度16分  
アルゼンチン諸島

## 訪問者の行動規範

### 上陸後の行動

ゆっくりと注意して歩くこと。動物に道を譲ること。  
小屋での宿泊は禁止されている。緊急時を除き、小屋への訪問は教育目的に限られ、他のいかなる目的にも利用してはならない。  
工作物に触れたり、持ちだしたりしてはならない。椅子などの家具に座ったり、テーブルや作業台に物を置いたりしないこと。  
建物に入る前に、長靴や上着から雪や砂を払うこと。リュックサックや大きな鞆は小屋の外に置いておくこと。  
訪問後、砂利、泥、雪を掃いておくこと。  
小屋の中や周囲での喫煙のほか、ろうそく、マッチ、コンロの使用は禁じられている。  
訪問時には、基地内にある訪問者簿に記録を残すこと。  
訪問者は、出発の際、基地を安全かつ確実に閉鎖して立ち去ること。

### 注意事項

上陸地点の岩場は、濡れているとすべりやすい。



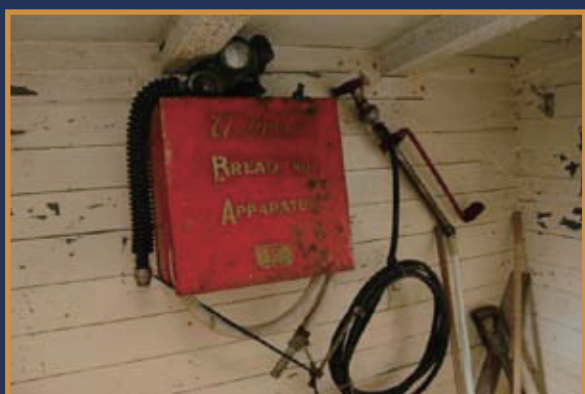
北側から見た小屋。建物の構造がわかる。



南側から見た小屋。海のすぐ近くに建てられている。



調理場とその向こうの居室。



入口ポーチの壁に掛けてある呼吸装置と手押しポンプ

